

Compass



川越市立霞ヶ関東中学校
進路だより
令和3年4月28日 No.2

進路選択に向けて、今やるべきことは？

1. 学習にしっかり取り組み、基礎的な力をつけておこう。

何においても『授業』が大切です。入試には中学校三年間で学んだことが出題されます。授業には真剣に取り組み、家庭学習の習慣をきちんと身につけておきましょう。その日暮らしではなく、いつまでに何をやるのかを計画して、実行していくことが大切です。

例えば…「1学期には1，2年生の復習を終える」

「夏休みには1，2年生の基礎固めや応用力をつける。3年1学期の復習をする。」

「2学期には3年1学期の基礎を固める。入試問題に組み込み、応用力をつける。」

「3学期には3年間の総仕上げをする」

などです。これはあくまでも参考なので、できるだけ自分で計画を立てて実行していくと良いと思います。

そして、定期テストや会場テストなどで自分自身の力を確認しておきましょう。自分の苦手な部分を発見し、克服するチャンスです！また、英語検定や漢字検定など、資格試験にも挑戦してみてください。

＜＜各教科の先生から聞きました！＞＞ ～2年生までの内容で復習しておいた方がいいこと～

【国語】… 言葉の学習（漢字、ことわざ、慣用句、熟語）、文法

【理科】… 化学反応式、細胞のつくり、力について

【数学】… 計算（正負の数や文字式など）

【社会】… 六大陸三海洋、雨温図、地形図について

【英語】… 単語や熟語の復習、文法の基本文は書けるように（Eigo Labのp2～5のような）

2. 自分の将来について考え、将来の進路の希望をはっきりさせておこう。

自分自身のことについてじっくり考えてみましょう。今考えている将来の姿が実現するかどうかは分かりませんが、考えることは大切です。漠然と会社に入って働くというのではなく、「どんな仕事に就きたいか」まで考えてみてください。1年生の時の職場体験も参考になると思います。

3. 学校でのさまざまな活動（係・委員会、行事、部活動など）に積極的に取り組もう。

学校でのさまざまな活動に積極的に取り組むことによって、自分自身の能力や適性、興味関心がどこにあるかが分かります。今のうちから、色々なことを経験しておくことも大切です。今までと違った自分を見つけられるかもしれません。

4. 家族とよく話し合おう。

家族との話し合いを早くから持ちましょう。「どこを受験する」といった話だけではなく、自分自身の将来の夢や親の願い、自分自身の置かれている立場などを早い時期から話し合っておきましょう。経済的な理由など、考えなくてはならないこともあります。奨学金などが必要な場合は、早めに申し込んでください。学校に募集が来たものは、この進路だより「Compass」でお知らせします。